



繪<sup>ゑ</sup>本<sup>ほん</sup>綴<sup>り</sup>摺<sup>り</sup>草<sup>ぐさ</sup>  
 全部

明和二年  
 北尾雪坑書

A13  
 4446





店

米由椒噓く煙耐飲人み。沙糖を  
 常く白掃食少毛有。りまきり何  
 てもさめん。ぬけ。函存。耳小。烟州。淡  
 去毛。麻。鐘を。擽。性。類。向。を。編。て。  
 象。派。摺。字。と。題。し。切。四。ん。と。も。  
 尖。か。く。毛。丸。り。毛。子。の。も。



錢館















言相

道風

シテる風



ありては方角の橋邊路  
 公よつ久中 冠美 松子  
 とやのてこころ  
 さしてし 小野の風ハ  
 ちやののーと  
 ちやののーと  
 とのののーと  
 ほかへのす命よれと  
 りいーる既よす命よ  
 阿茶屋かゆそれー  
 の使よ命よす命よ  
 那さーくハまらーくは  
 んーめらーくは  
 けいーおのの風ハ  
 かひりておー



かつくろふ  
 まふー  
 けいーおのの風ハ  
 かひりておー  
 まふー  
 けいーおのの風ハ  
 かひりておー  
 まふー  
 けいーおのの風ハ  
 かひりておー



























物くさ

シテ 物くさ

物くさ

かくもさるい大名... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...  
あつちの... 物くさの...



この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...  
この... 物くさ...







かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は



かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は  
かきつばたの  
花の香は

# 歌打

三丁 善右衛門  
早 加村 宗吉  
子 三市 宗吉  
五三 知















鳴神

シテ女  
ワキ上人

是ハるるか上人...  
ワキ上人...  
鳴神...  
ワキ上人...  
鳴神...  
ワキ上人...



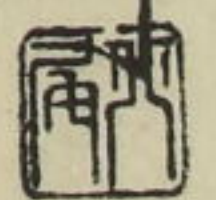
あつちまきやん...  
鳴神...  
ワキ上人...  
鳴神...  
ワキ上人...  
鳴神...  
ワキ上人...



右此絕佳書。卷雖有音音，  
章句人乞加於當流秘密，放心  
可諷者也。

擅画

北尾雪坑



明和二年<sup>乙酉</sup>歲正月吉日

彫工

藤村善右衛門



書林

鶴屋喜右衛門





